

## 第8回 大熊町除染検証委員会

日時：令和4年4月21日（木）10:00～

場所：大熊町役場 2階 大会議室

### 議 事 次 第

【午前の部】10:00～

1. 開 会
2. 現地視察

（昼食）12:00～

【午後の部】13:10～

3. 環境対策課長挨拶
4. 議 事
  - （1）大熊町特定復興再生拠点の除染状況について
  - （2）特定復興再生拠点内での空間線量率測定結果について
  - （3）特定復興再生拠点内でのD-シャトル測定結果と被ばく評価結果について
  - （4）大熊町特定復興再生拠点の避難指示解除について
5. 閉 会

#### ○配布資料

- 資料1 第7回大熊町除染検証委員会を踏まえた詳細調査及び追加除染等（環境省）
- 資料2 大熊町特定復興再生拠点区域 詳細調査及び追加除染等管理表（環境省）
- 資料3 特定復興再生拠点における除染の効果～箱ひげ図～（環境省）
- 資料4 特定復興再生拠点内での空間線量率測定結果について（JAEA）
- 資料5 特定復興再生拠点内でのD-シャトル測定結果と被ばく評価結果について（JAEA）
- 資料6 出席者名簿
- 資料7 配席図



資料一 1

# 第7回大熊町除染検証委員会を踏まえた 詳細調査及び追加除染等

- 現在も $3.8\mu\text{Sv/h}$ を超過する箇所が散在しているのではないか。
- 空間線量率モニタリングの定点として把握している地点以外の場所についての詳細調査が必要ではないか。
- 未同意や解体申請中等の理由で除染が行われていない場所についてどう対応するのか。

- 森林追加除染や除染後 $3.8\mu\text{Sv/h}$ 超過地点の対応においては、面的に歩行探査を行い、 $3.8\mu\text{Sv/h}$ 超過地点が無いことを確認済。
- この次のステップとして、その次にホットスポットが含まれる可能性が高い箇所として、 $3.0\mu\text{Sv/h}$ 以上の測定点を含む124画地※の詳細調査（歩行探査）を実施。
- 調査の結果、39画地で $3.8\mu\text{Sv/h}$ 超過地点を確認。85画地は $3.8\mu\text{Sv/h}$ 超過が確認されなかった。

- また、 $3.0\mu\text{Sv}/\text{h}$ 以上の測定点付近の詳細調査に加え、拠点区域全域について、主たる道路及びその周辺（それに面する法面、草地・芝地、屋敷林等）について、 $3.8\mu\text{Sv}/\text{h}$ 超過地点の有無の確認を行った。
- 調査の結果、65地点※で $3.8\mu\text{Sv}/\text{h}$ 超過を確認。その他の地点では $3.8\mu\text{Sv}/\text{h}$ 超過が確認されなかった。



※65地点には未同意画地等を含めていない。

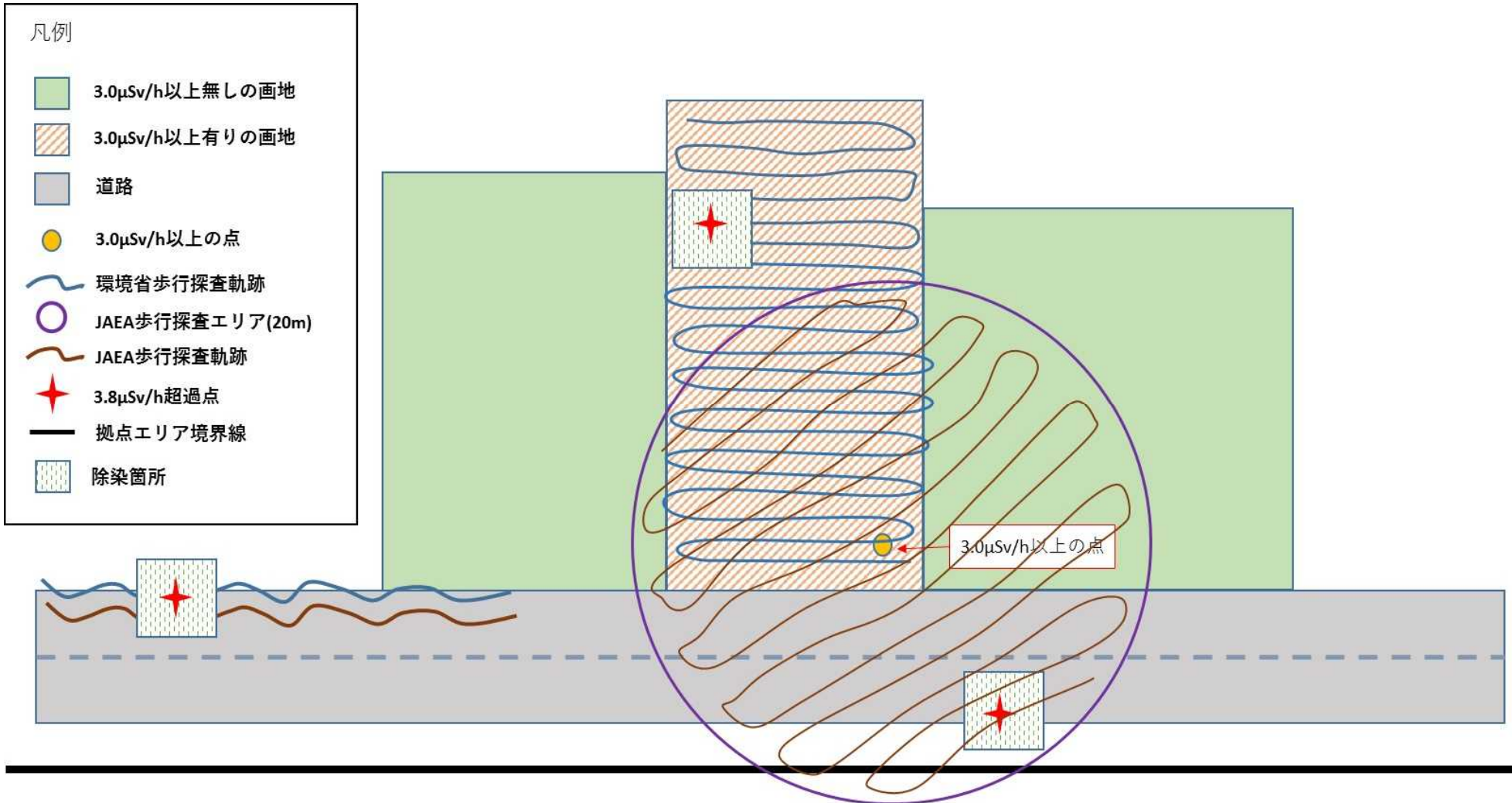
- JAEAの協力により、環境省調査とは別に、環境省調査箇所以外を含め歩行探査による調査を実施。

調査対象：2021年JAEA歩行モニタリングにおける $3.0\mu\text{Sv/h}$ 超過箇所及び環境省モニタリングにおける $3.0\mu\text{Sv/h}$ 超過箇所周辺について調査。

- 結果、未同意画地等を除き、73地点の $3.8\mu\text{Sv/h}$ 超過を確認。
- この73地点のうち、17地点は、環境省調査箇所以外で確認が出来たもの。

※厳密には、歩行探査の結果を地点数で表すことや測定場所の一致判断は困難であるが、便宜上地点数で表している。

## (参考) 各調査のイメージ



- 以上を踏まえると、今回の調査※<sup>1</sup>により、拠点全域から39 + 65 + 17 = 121地点※<sup>2</sup>のホットスポットが確認された。
- このうち22地点については、未同意画地の影響、町等との復旧工事のスケジュール調整等により、すぐには工事に着手できない。99地点については、追加除染を実施し、3.8 $\mu$ Sv/h未満であることを線量低減を確認している。

※1：調査地点を含む画地の面積で概算すると調査を行った面積は約145ha。そのうち3.8 $\mu$ Sv/h以上の地点が見つかり、追加除染を行った面積は約2.6ha。

※2：ここでは便宜上、画地も「地点」としている。



宅地



法面



舗装(クラック等)  
※解体予定



舗装(クラック等)  
※解体予定

農地



法面



法面

（地目上は農地だが、現況は必ずしも農地ではない。）

道路



舗装(クラック、堆積物等)



道路脇法面



道路脇法面

森林



森林



森林



草地(林縁)

- 工事予定画地については、工事の際に必要な除染措置及び歩行探査を行い、 $3.8\mu\text{Sv/h}$ を下回ることを確実にする。解体予定の町有施設については、町と相談の上、立入禁止措置を行う。
- また、解体申請のサポートにより、円滑な解体除染を図るとともに、町と協力して未同意者から早期に同意を得るよう取り組む。
- 他方、未同意画地等も当面残ることから、4月1日号町広報誌において住民に放射線測定をご案内。その他の機会も活用し、住民が敷地境界等生活の上で気になる箇所の空間線量率について測定を行う。
- こうした対応の中で、ホットスポットが見つかった場合は、責任を持って追加除染を行う。



※「解体除染作業中につき関係者以外立入禁止」と表示。

大熊町特定復興再生拠点区域 詳細調査及び追加除染等管理表

No	大分類	除染前		除染後		覆 土	備 考
		最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)		
1	その他	4.21	1.97	済			
2	農地	3.86	2.49	済			
3	草地、芝地	7.25	1.29	済			
4	草地、芝地	5.81	2.81	済			
5	草地、芝地	4.33	2.98	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
6	草地、芝地	8.08	0.68	済			
7	草地、芝地	4.08	1.71	済			
8	農地	4.21	2.72	済			
9	その他	4.75	1.73	済			
10	大型施設	4.80	2.73	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
11	住宅地等	5.91	2.20	済			
12	住宅地等	4.24	2.78	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
13	大型施設	7.03	3.10	済			
14	草地、芝地	4.26	1.30	済			
15	住宅地等	3.94	1.14	済			
16	草地、芝地	4.19	2.78	済			
17	道路	4.89	2.33	済			
18	道路	5.84	2.80	済			
19	道路	4.63	2.19	済			
20	道路	4.01	2.58	済			
21	道路	4.12	1.14	済			
22	森林	4.24	3.03	済			
23	森林	4.54	2.30	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
24	森林	3.99	0.33	済			
25	森林	4.86	1.33	済			
26	森林	5.16	2.32	済			
27	森林	5.20	1.75	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
28	森林	4.35	0.66	済			
29	森林	4.20	1.51	済			
30	森林	6.53	1.51	済			
31	住宅地等	5.68	2.96	2022/4/26		空間線量は削り取り後の値	
32	住宅地等	6.38	1.68	済			
33	農地	4.91	1.21	済			
34	農地	4.35	2.42	済			
35	草地、芝地	4.72	1.01	済			
36	草地、芝地	3.81	1.37	済			
37	その他	4.56	2.94	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
38	その他	3.89	2.34	済			
39	森林	3.82	0.97	済			
40	道路	3.81	1.45	済			
41	道路	4.41	1.81	済			
42	道路	4.07	2.94	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
43	道路	5.51	3.40	2022/4/20		空間線量は削り取り後の値	
44	住宅地等	3.89	0.92	済			
45	農地	4.38	1.96	済			
46	住宅地等	5.70	2.38	済			
47	農地	8.03	0.71	済			
48	住宅地等	9.00	1.65	済			
49	住宅地等	6.07	2.48	済			
50	農地	3.89	2.38	済			
51	農地	3.96	1.16	済			
52	住宅地等	4.73	1.73	済			
53	住宅地等	6.38	1.01	済			
54	農地	4.28	2.14	済			
55	草地、芝地	5.60	1.75	済			
56	農地	4.15	1.75	済			
57	住宅地等	5.24	0.87	済			
58	森林	4.52	2.45	済			
59	森林	4.15	1.08	済			
60	道路	3.81	1.57	済			
61	道路	4.60	1.26	済			
62	道路	6.10	1.01	済			
63	道路	4.10	3.70	調整中		(3/16地震により施工困難)	
64	道路	4.70	2.32	済			
65	道路	3.93	2.70	済			
66	道路	5.60	2.89	済			
67	道路	4.58	2.76	済			
68	道路	4.80	2.91	済			
69	道路	4.43	1.88	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
70	法面	4.83	1.69	済			
71	草地、芝地	6.21	1.88	済			
72	草地、芝地	3.87	1.80	済			
73	道路	3.90	1.26	済			
74	道路	3.50	1.36	済			
75	道路	3.60	1.57	済			
76	道路	3.74	2.85	済			
77	道路	11.00	1.45	済			
78	道路	7.18	1.22	済			
79	森林	3.90	0.65	済			
80	農地	4.15	2.36	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
81	法面	3.67	1.35	済			

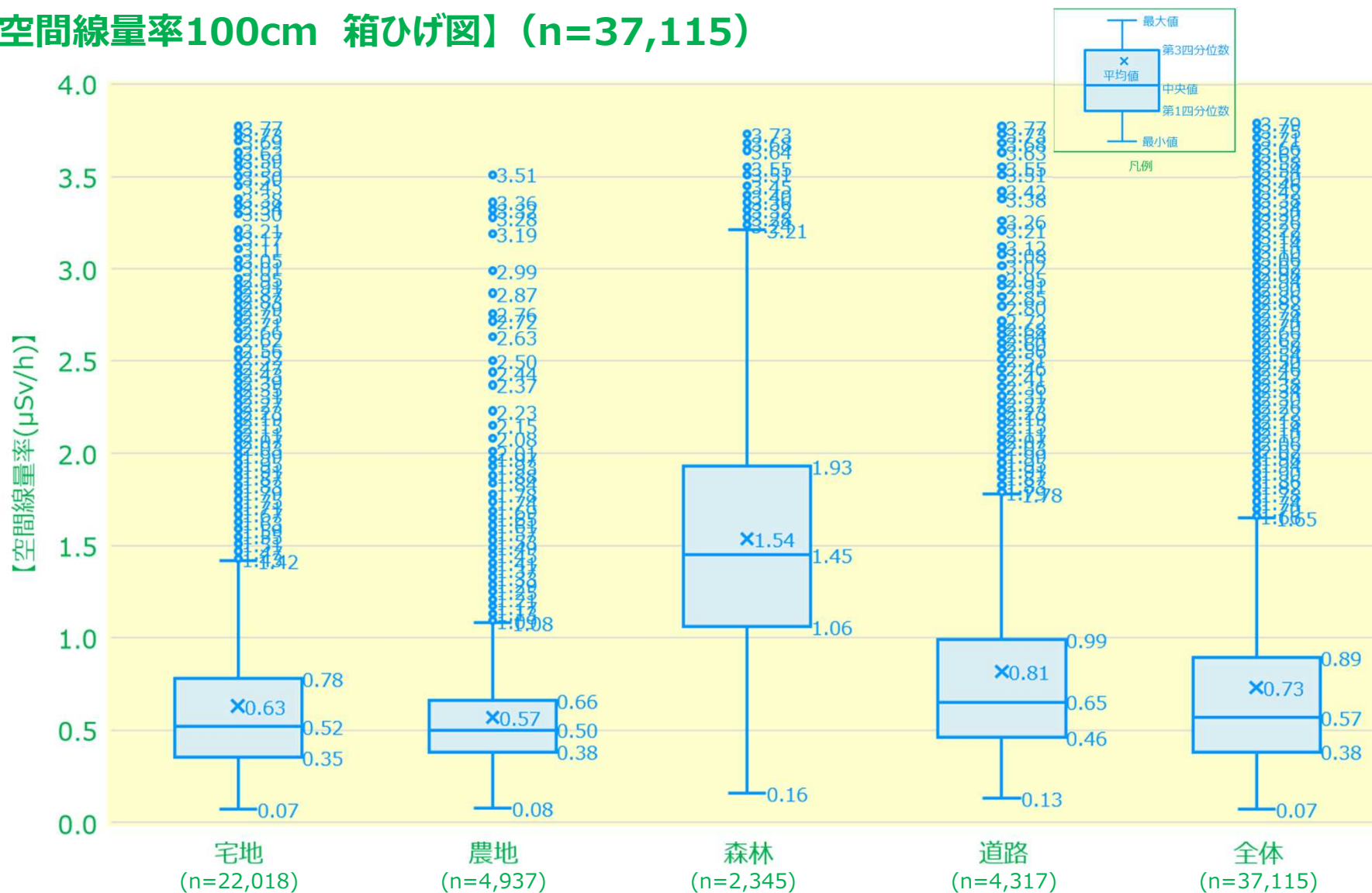
No	大分類	除染前		除染後		覆土	備考
		最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)	最大線量率(μSv/h)		
82	道路	4.77	2.92	済			
83	道路	3.85	1.66	済			
84	農地	3.92	2.60	済			
85	道路	4.70	1.71	済			
86	道路	4.30	2.26	済		覆土後未測定、空間線量は削り取り後の値	
87	道路	4.95	2.00	済			
88	道路	3.98	1.97	済			
89	道路	4.52	1.35	済			
90	道路	3.92	1.53	済			
91	法面	4.21	1.21	済			
92	法面	4.26	1.19	済			
93	法面	4.48	1.83	済			
94	道路	5.50	2.43	済			
95	道路	4.22	1.65	済			
96	道路	3.70	1.71	済			
97	道路	6.29	0.67	済			
98	森林	4.18	0.98	済			
99	農地	7.12	2.34	済			
100	その他	6.59	調整中	調整中			
101	住宅地等	4.66	-	-			
102	住宅地等	11.2	調整中	調整中			
103	その他	4.85	調整中	調整中			
104	草地、芝地	5.88	3.80	-			
105	草地、芝地	5.62	3.92	-			
106	その他	6.76	調整中	調整中			
107	道路	5.40	調整中	調整中			
108	森林	5.54	-	-			
109	住宅地等	3.92	-	-			
110	その他	4.73	調整中	調整中			
111	森林	5.22	-	-			施工時期調整中、未同意画地等
112	道路	4.37	調整中	調整中			
113	住宅地等	5.72	-	-			
114	森林	4.96	-	-			
115	道路	4.60	調整中	調整中			
116	森林	4.30	-	-			
117	道路	3.81	-	-		対象外地点外	
118	道路	4.94	-	-			
119	道路	4.02	調整中	調整中			
120	道路	5.02	調整中	調整中			
121	住宅地等	5.01	-	-			



# 特定復興再生拠点における除染の効果 ～箱ひげ図～

資料一三

【空間線量率100cm 箱ひげ図】 (n=37,115)



※測定時期：2021年4月1日～2022年3月31日

※外れ値のうち直ちに除染が出来ない2点を除き、今回、歩行探査・追加除染を実施。



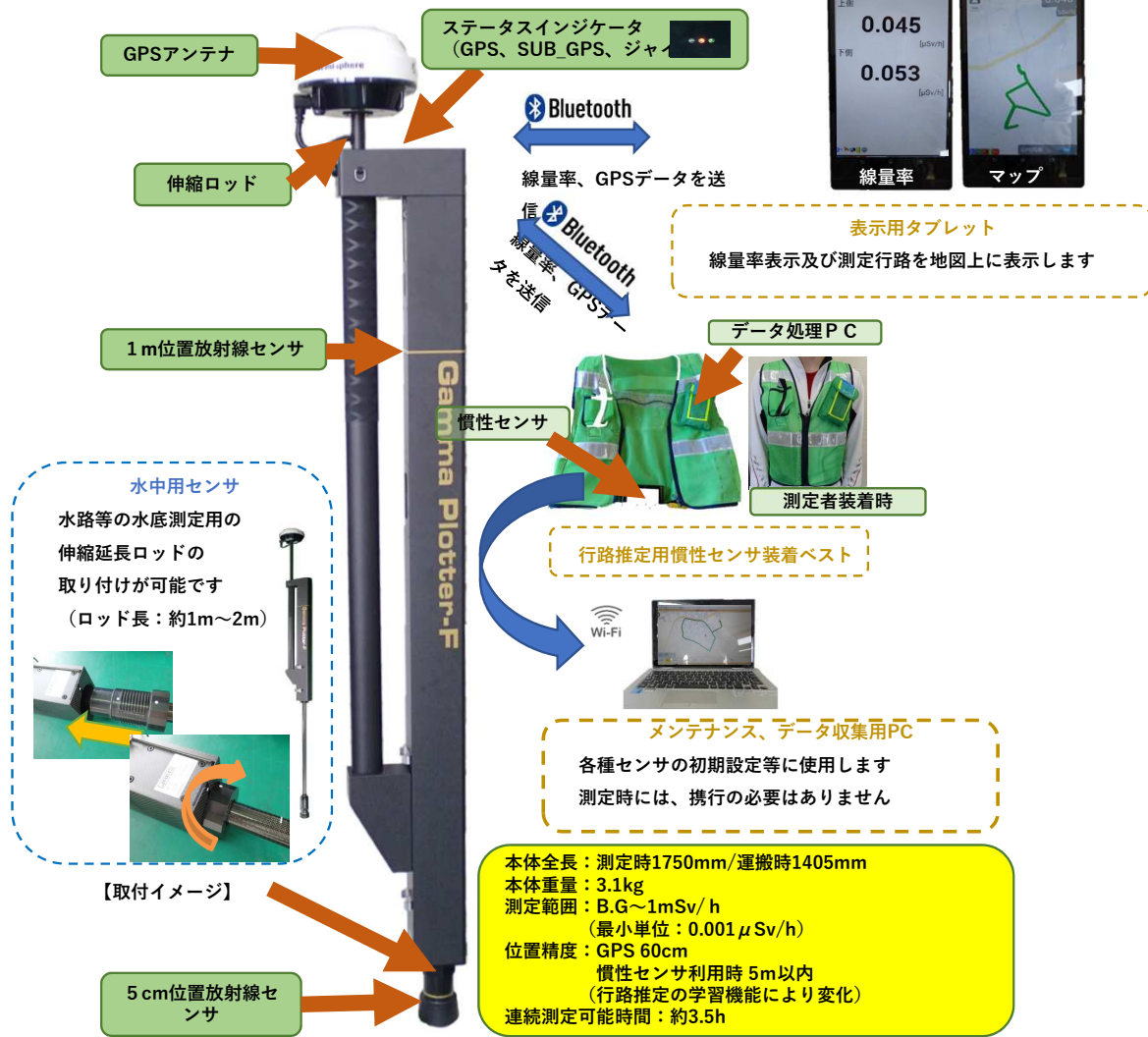
# 特定復興再生拠点内での空間線量率測定結果について

2022/4/21

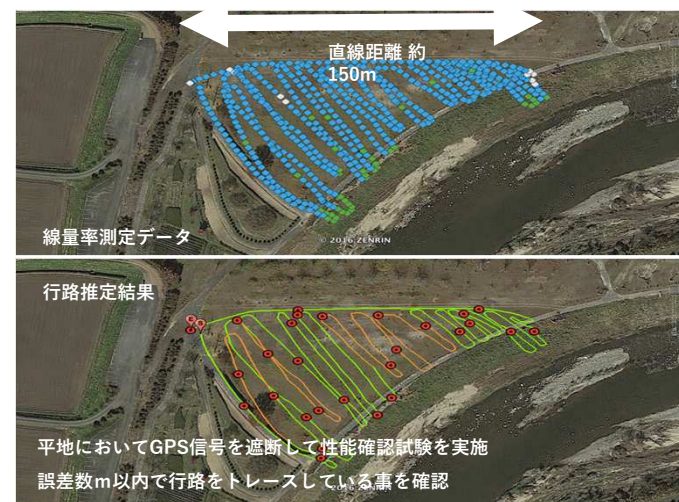
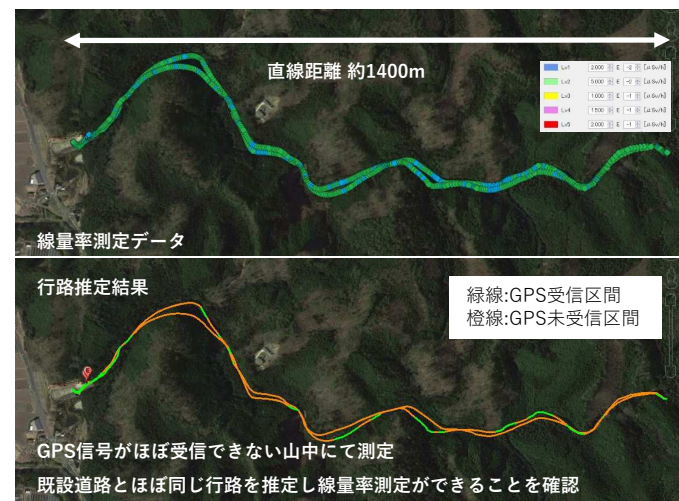
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
廃炉環境国際共同研究センター

- 大熊町特定復興再生拠点について、下記の目的で歩行サーベイを実施。
  - (1) 2/15: 車道、歩行の再測定 (2021年6月計測時 $3.0 \mu\text{Sv/h}$ を超える箇所の現状チェック)
  - (2) 3/1-2: 環境省データ周辺の詳細測定 (環境省公式データにおいて $3.0 \mu\text{Sv/h}$ を超える箇所の周辺確認)
  - (3) 4/5-7: 環境省追加除染箇所の確認 (環境省による除染場所のダブルチェック測定)
- 上記の目的の下、100か所以上の歩行サーベイを実施し、地表面から1m及び5cmにおける空間線量率マップを作成 (詳細は添付資料集を参照)
- 区域全体の確認は不可能ではあるものの、環境省の測定データを元に $3.8 \mu\text{Sv/h}$ を超える地点をある程度特定
- 環境省追加除染箇所については概ね $3.8 \mu\text{Sv/h}$ を超える地点は限定的

## GP-F装置概要



## 測定データ







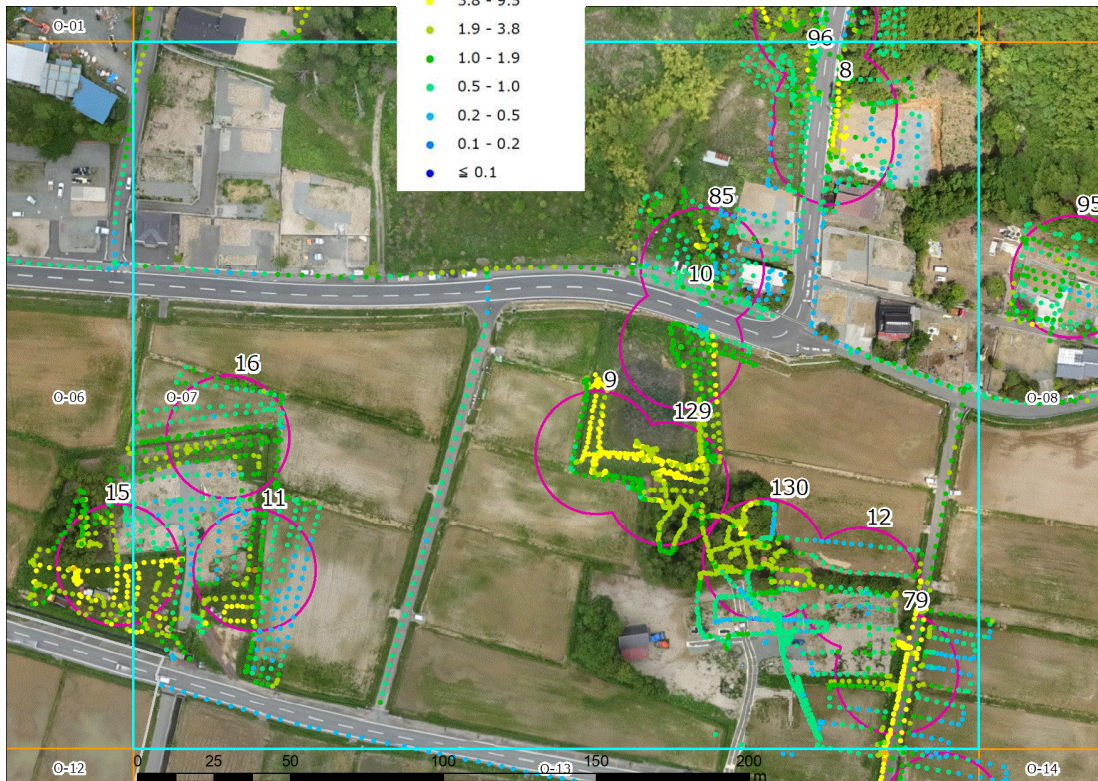
## 地表面と1m地点の線量率の結果例

1m高さ線量率(μSv/h)

- 9.5 <
- 3.8 - 9.5
- 3.0 - 3.8
- ≤ 3.0

5cm高さ線量率(μSv/h)

- 19.0 <
- 9.5 - 19.0
- 3.8 - 9.5
- 1.9 - 3.8
- 1.0 - 1.9
- 0.5 - 1.0
- 0.2 - 0.5
- 0.1 - 0.2
- ≤ 0.1



3月測定 (追加除染前)



区域境界付近  
(区域外が未除染のため線量が高い可能性有)



4月測定 (追加除染後)



O-03

18

O-08

O-04

22

O-08

0 12.5 25 50 75 100 m

O-09

O-10



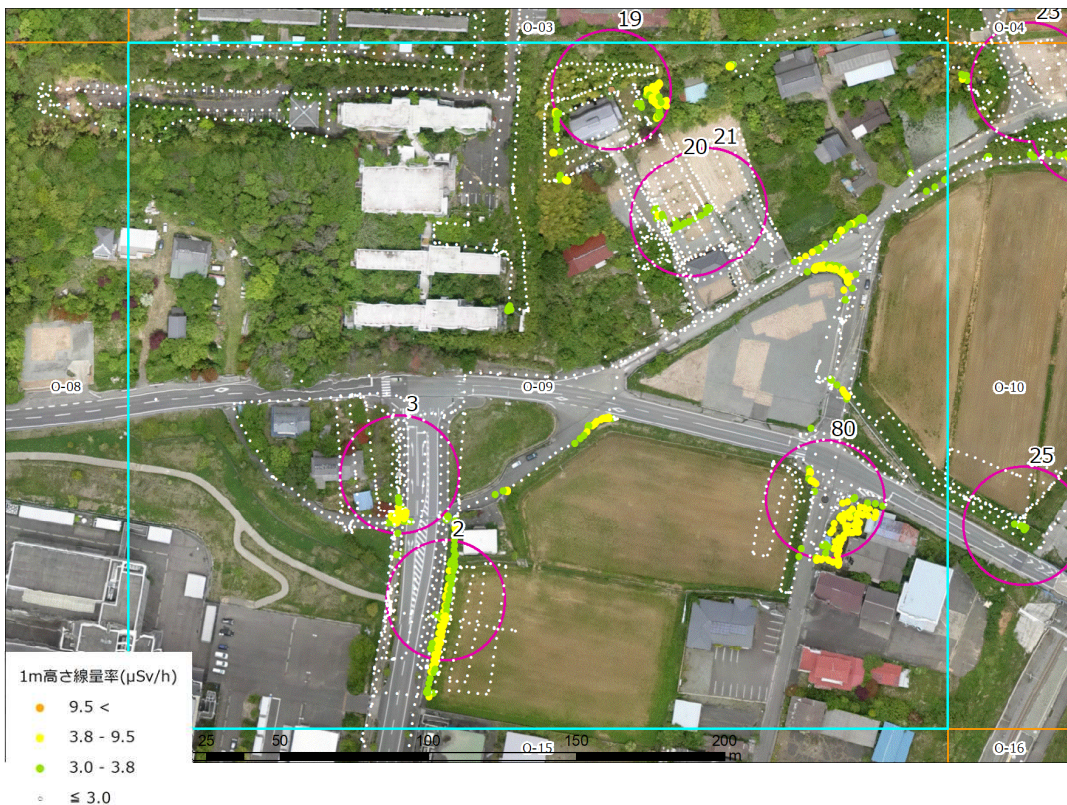
4月測定 (追加除染後)

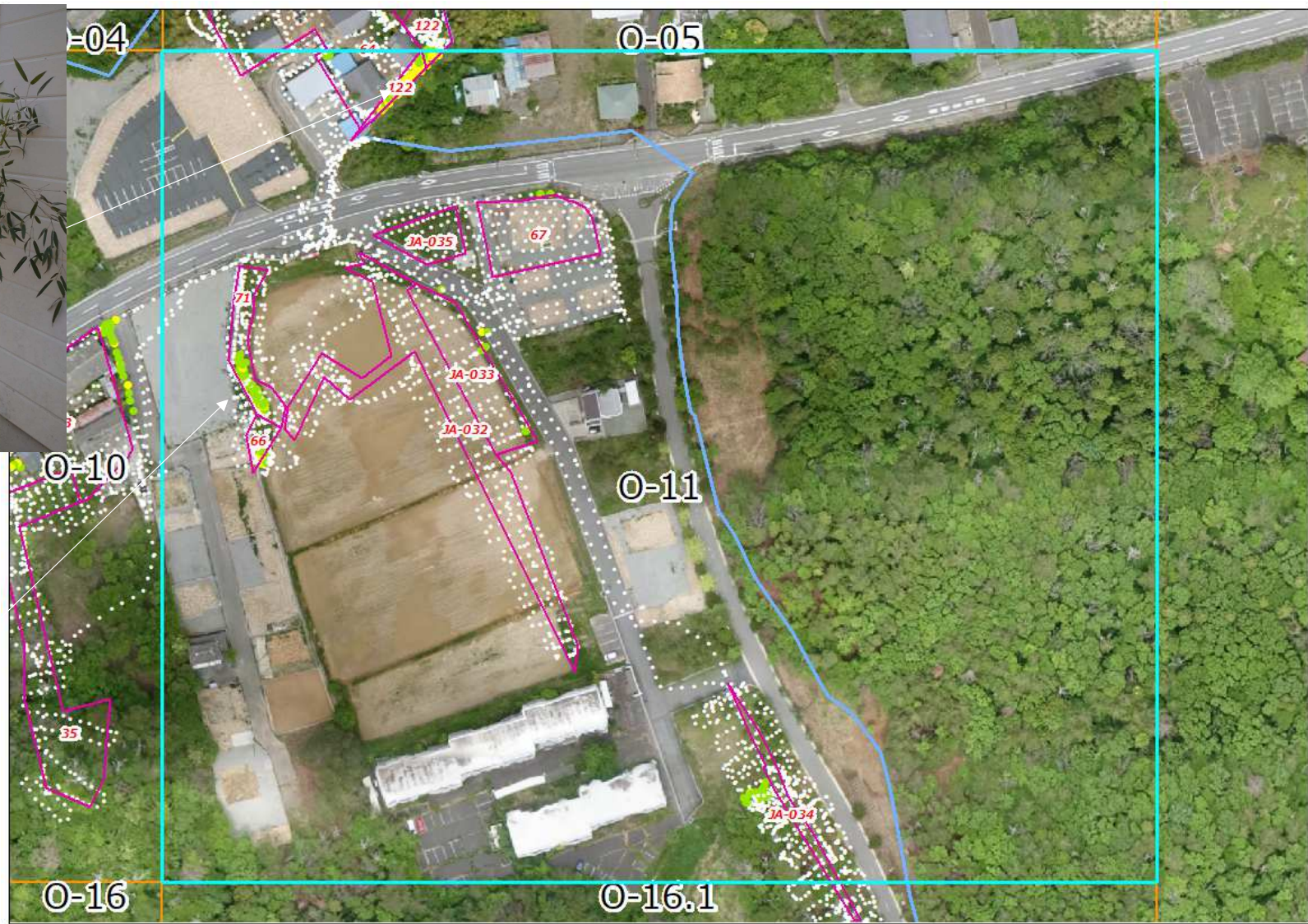


## 測定プランの違い例

3月測定

4月測定





## 除染効果の例

3月測定

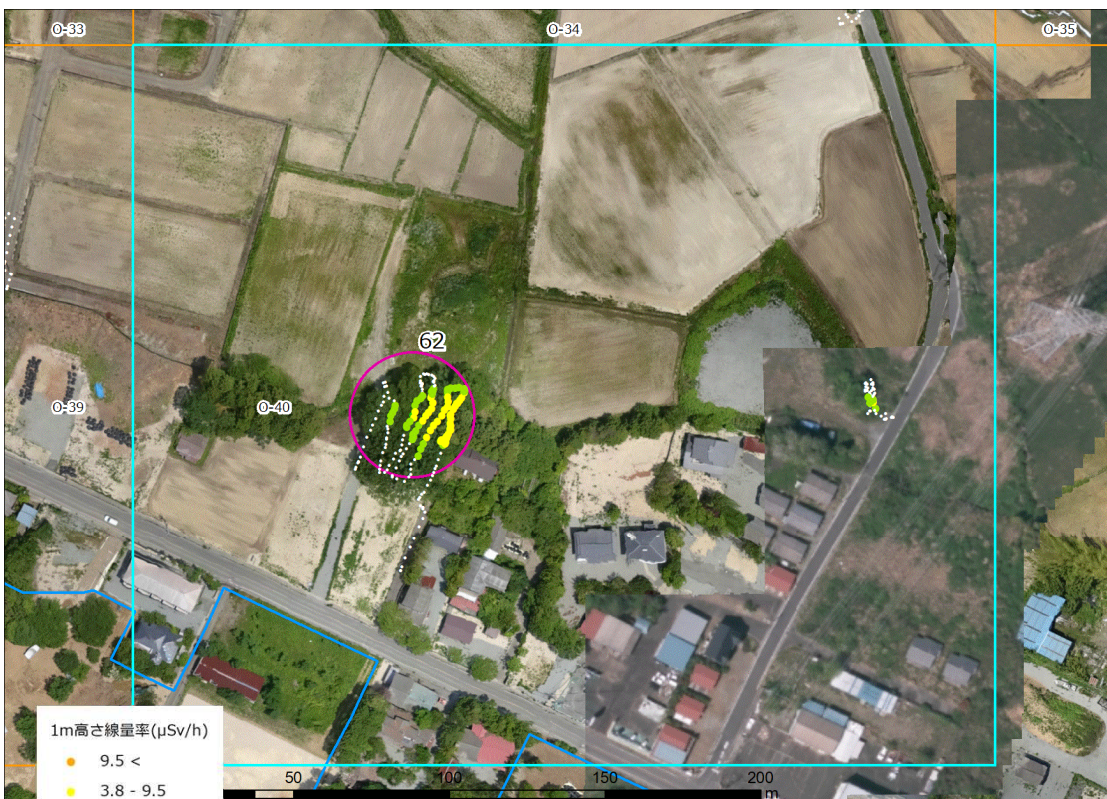
4月測定



## 除染効果の例

3月測定

4月測定





# 特定復興再生拠点内でのD-シヤトル測定結果と 被ばく評価結果について

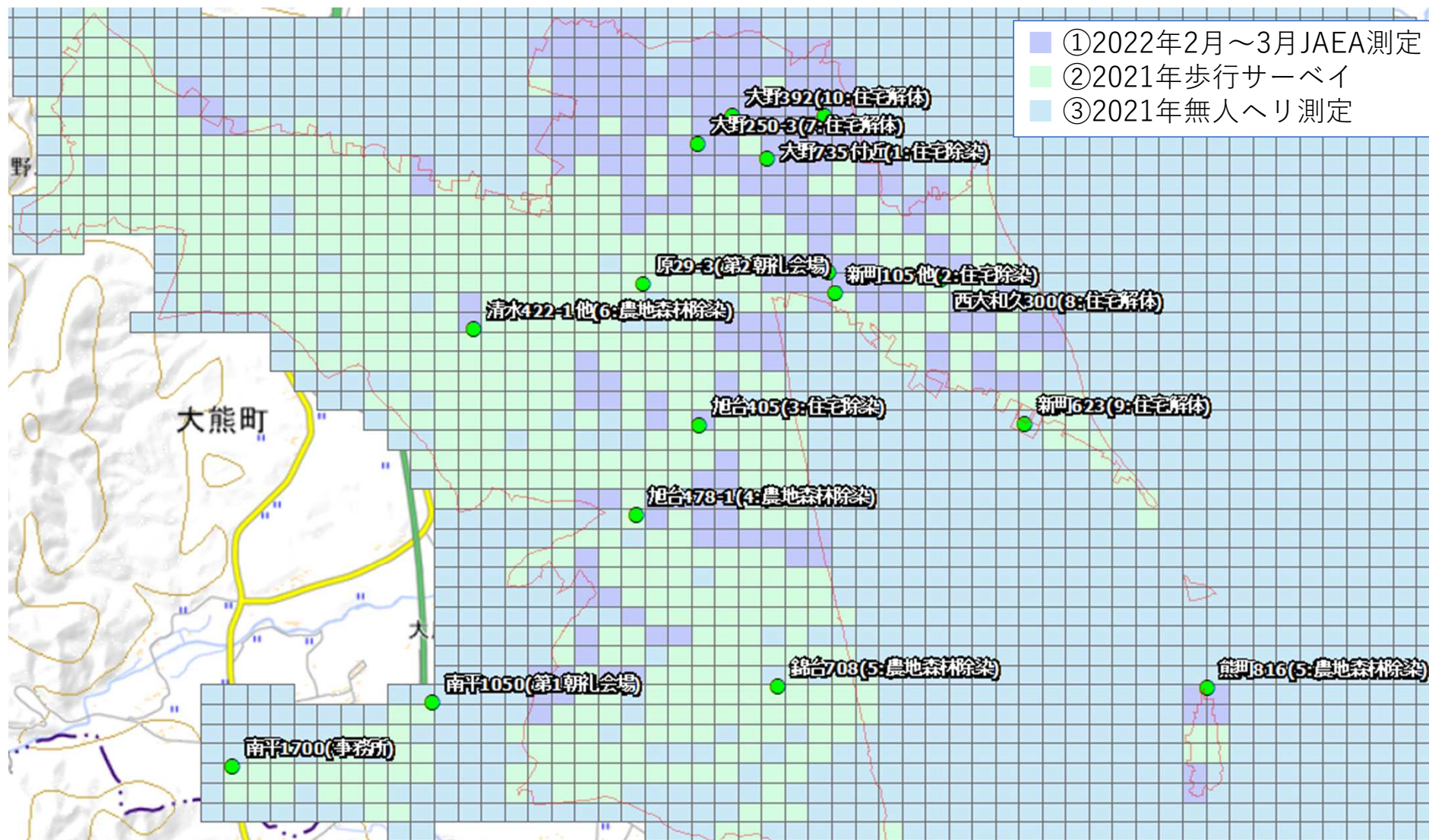
2022/4/21

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
廃炉環境国際共同研究センター

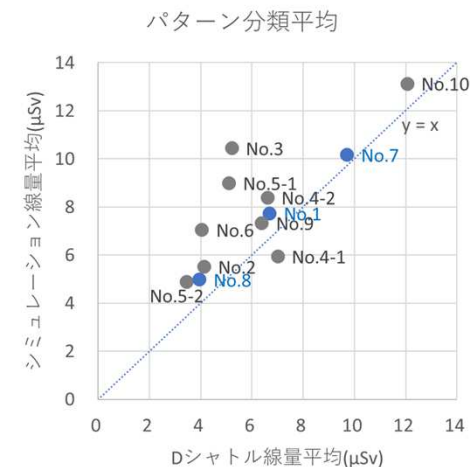


- 外部被ばく線量評価（シミュレーション）には以下の条件を用いた。
  - 外部被ばく線量は、各地点の空間線量率に滞在時間をかけ積算した空間線量に0.6（成人の係数）を乗じて実効線量として算出した。
  - 屋外の空間線量率には、以下の測定結果のうち対象地点にデータがあり優先度の高いものを用いた。対象地点にいずれのデータもない場合は最も近いデータを用いた。
    - ① 2022年2月～3月に国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）が大熊町で測定した結果
    - ② 2021年の歩行サーベイ測定結果※
    - ③ 2021年の無人ヘリコプター測定結果※
  - ※原子力規制庁受託事業として国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が測定した結果
  - 屋内における空間線量率には、屋外の空間線量率からバックグラウンド空間線量率を差し引いた数値に屋内外低減係数0.4を乗じてバックグラウンド空間線量率を足し戻した値を用いた。
  - バックグラウンド空間線量率には、大熊町の平均値として $0.074 \mu\text{Sv/h}$ を用いた。
  - 車内の空間線量率には、屋外の空間線量率に車両の低減係数0.8を乗じた値を用いた。
- 行動記録表から行動パターンを作成する際は以下の条件を用いた。
  - 作業時間外はD-シャトルを自宅に持ち帰っている場合もあるが、大熊町外の空間線量率データはないため、一律朝礼場所に保管されていると仮定して（朝礼場所を自宅と仮定して）パターンを作成した。
  - 行動記録表に現場作業前後の移動が記録されていないことが多かったが、指定された経路で移動した場合の移動時間をGoogleマップで検索し、5分単位に丸めて移動時間を設定した。





- パターン分類ごとのD-シャトル個人線量1日平均は、最大で $12.1 \mu\text{Sv}$ で、1年間の被ばく線量に換算すると4.42mSvとなる（自然放射線含む）。
- D-シャトル個人線量とシミュレーション実効線量は同様の傾向を示した。多くのパターンで作業時間外でのD-シャトル保管場所とシミュレーションでの自宅の設定場所が異なることから、作業時間外線量評価結果に起因する誤差があると考えられる。



対象者	パターン分類	日数	D-シャトル個人線量合計 (μSv)	シミュレーション実効線量合計 (μSv)	D-シャトル個人線量平均 (μSv)	シミュレーション実効線量平均 (μSv)	作業時間外D-シャトル保管場所	シミュレーション自宅設定場所
No.1	大野735付近で住宅除染	5	33.4	38.7	6.7	7.7	南平1050	南平1050
No.2	新町105他で住宅除染	5	20.6	27.6	4.1	5.5	南相馬市	南平1050
No.3	旭台405で住宅除染	6	31.2	62.7	5.2	10.5	南相馬市	南平1050
No.4-1	中央台809で農地森林除染	2	14.0	11.9	7.0	6.0	南相馬市	南平1050
No.4-2	中央台809・旭台478-1・新町110-1他で農地森林除染	1	6.6	8.4	6.6	8.4	南相馬市	南平1050
No.5-1	錦台708で農地森林除染	1	5.1	9.0	5.1	9.0	いわき市	南平1050
No.5-2	熊町816で農地森林除染	2	6.9	9.8	3.5	4.9	いわき市	南平1050
No.6	清水422-1他で農地森林除染	7	28.3	49.4	4.0	7.1	いわき市	南平1050
No.7	大野250-3で住宅解体	4	38.8	40.7	9.7	10.2	原29-3	原29-3
No.8	西大和久300で住宅解体	5	19.7	24.9	3.9	5.0	原29-3	原29-3
No.9	新町623で住宅解体	5	31.9	36.7	6.4	7.3	浪江町	原29-3
No.10	大野392で住宅解体	5	60.3	65.7	12.1	13.1	いわき市	原29-3

一致

一致

## 【 No.1 大野735付近で住宅除染 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間



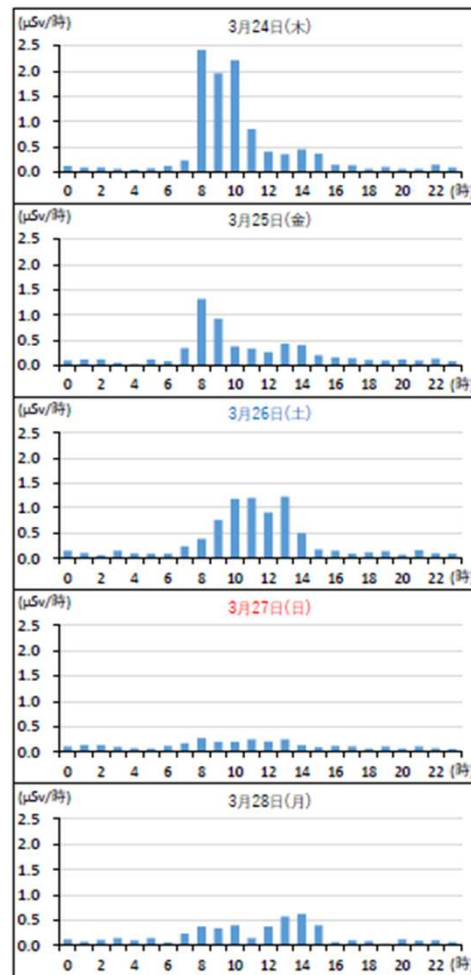
(作業時間外) D-シャトルは南平1050に保管  
シミュレーションでも南平1050に滞在すると仮定

大野735

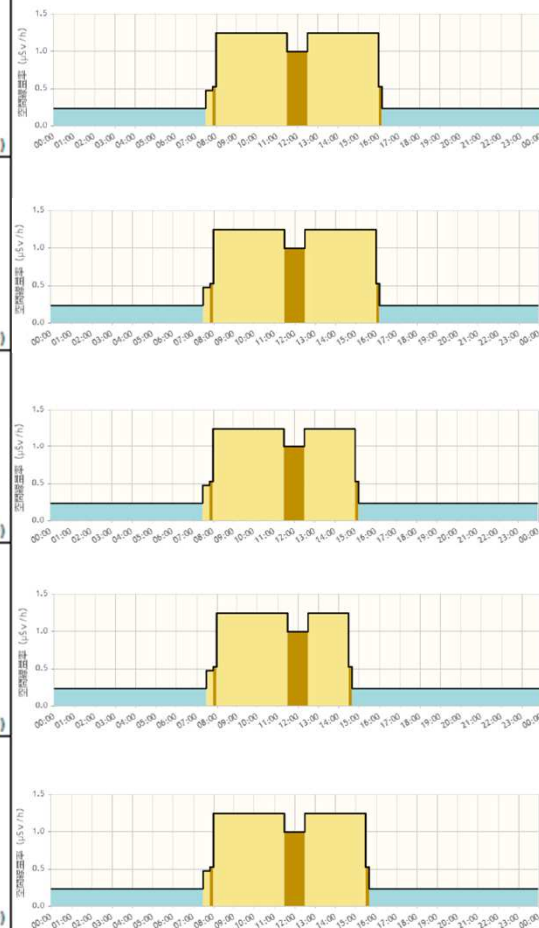


南平1050(第一朝礼会場)

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/24(木)	10.7	8.1
3/25(金)	6.3	8.1
3/26(土)	8.2	7.5
3/27(日)	3.2	7.2
3/28(月)	5.0	7.8
計	33.4	38.7

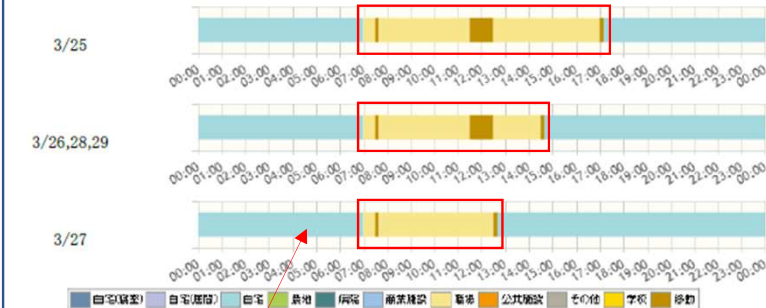
## 【 No.2 新町105他で住宅除染 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間

新町105他



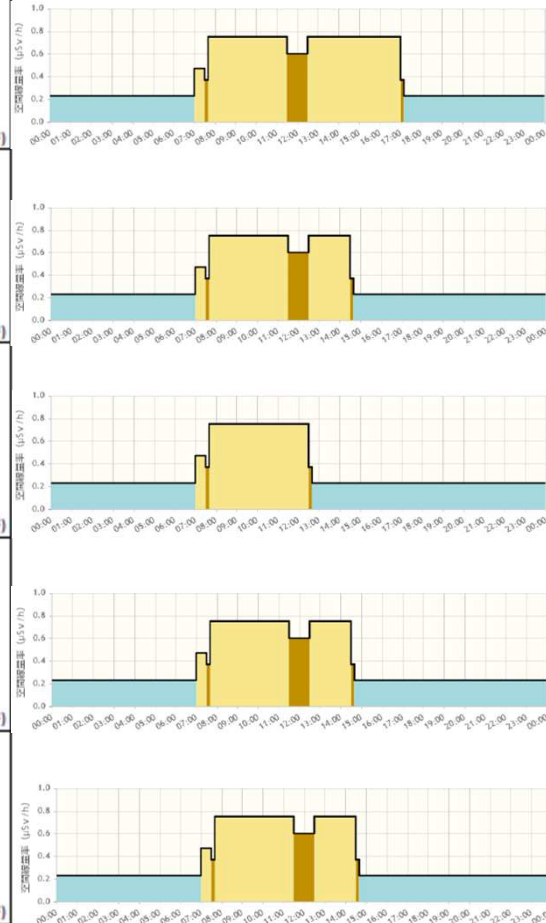
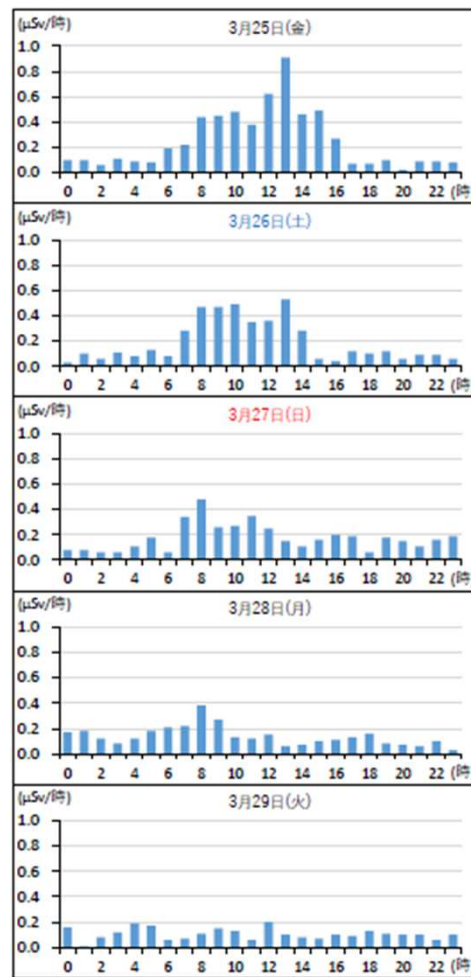
南平1050(第一朝礼会場)

(作業時間外) D-シャトルは自宅(南相馬市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定

測定日	Dシャトル 個人線量( $\mu\text{Sv}$ )	シミュレーション 実効線量( $\mu\text{Sv}$ )
3/25(金)	6.0	6.2
3/26(土)	4.6	5.5
3/27(日)	4.2	4.9
3/28(月)	3.3	5.5
3/29(火)	2.5	5.5
計	20.6	27.6

D-シャトル個人線量

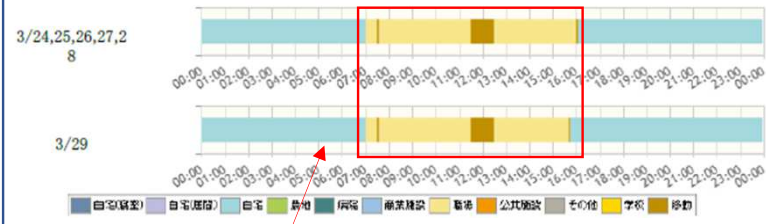
シミュレーション空間線量率変化



## 【 No.3 旭台405で住宅除染 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要



作業時間

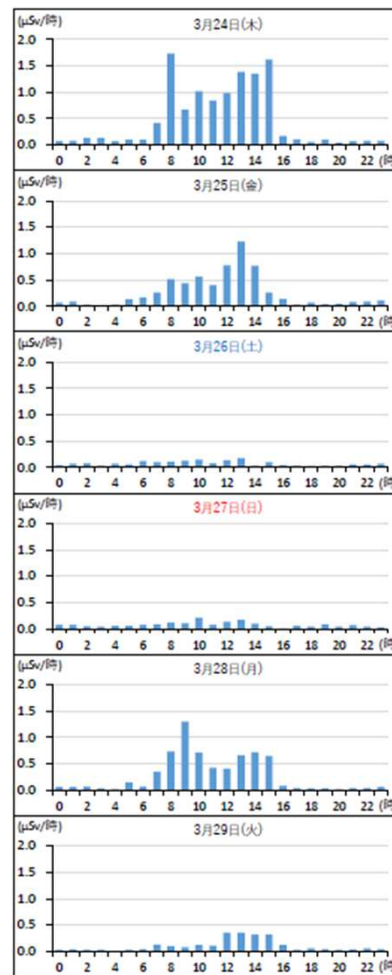
旭台405



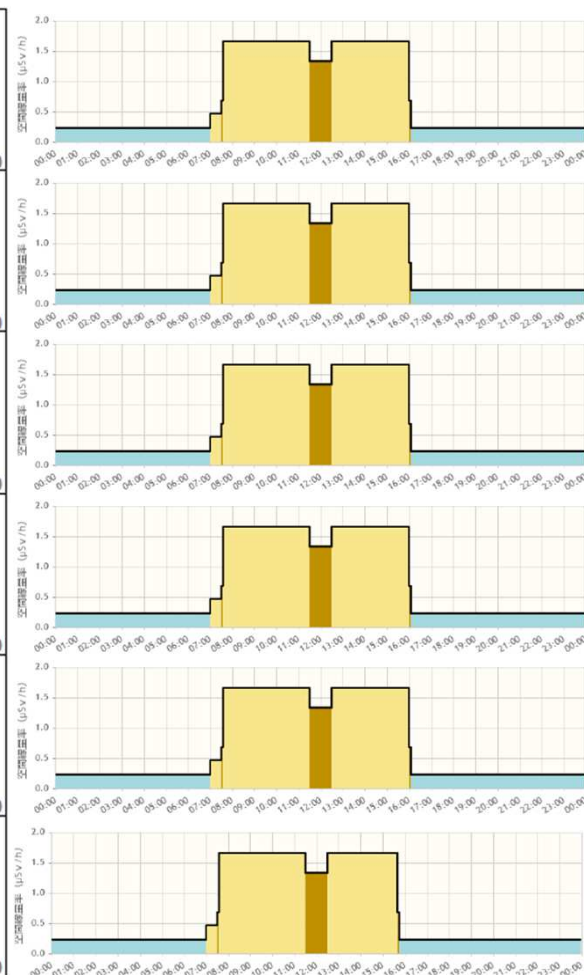
南平1050(第一朝礼会場)

(作業時間外) D-シャトルは自宅(南相馬市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



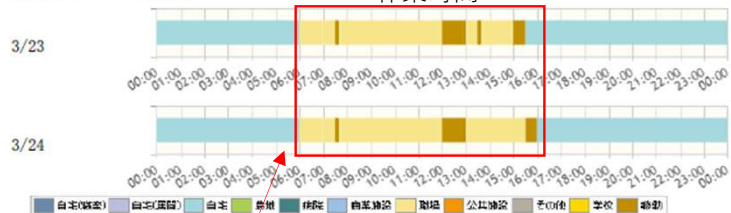
測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/24(木)	11.5	10.5
3/25(金)	6.4	10.5
3/26(土)	2.0	10.5
3/27(日)	1.9	10.5
3/28(月)	6.8	10.5
3/29(火)	2.6	10.2
計	31.2	62.7

## 【 No.4-1 中央台809で農地森林除染 】

行動と地点経路

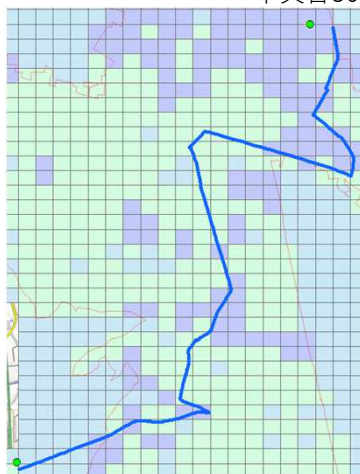
○生活行動パターン概要

作業時間



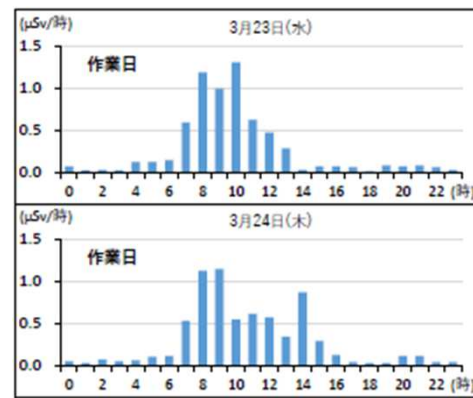
(作業時間外) D-シャトルは自宅(南相馬市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定

中央台809

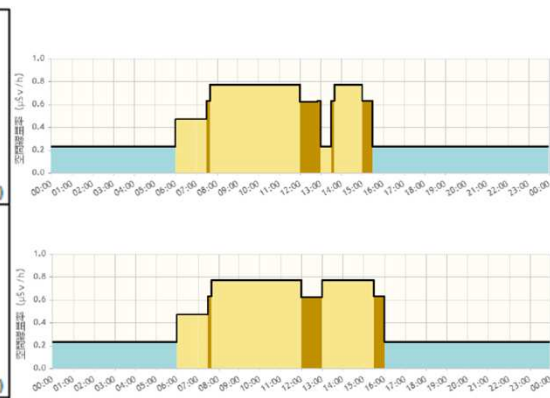


南平1050(第一朝礼会場)

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/23(水)	6.8	5.8
3/24(木)	7.2	6.1
計	14.0	11.9

## 【 No.4-2 中央台809・旭台478-1・新町110-1他で農地森林除染 】

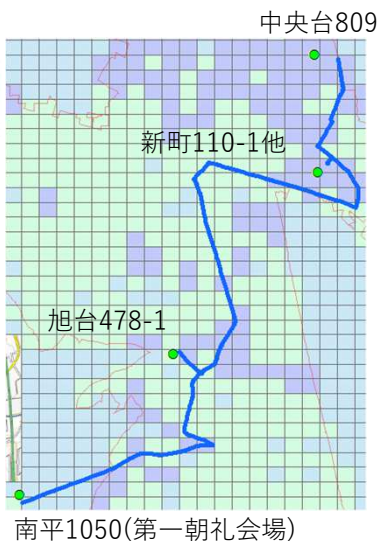
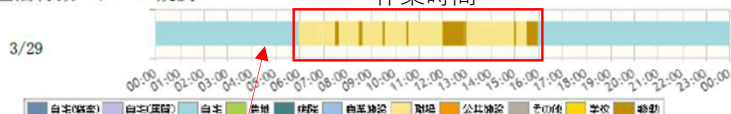
行動と地点経路

D-シャトル個人線量

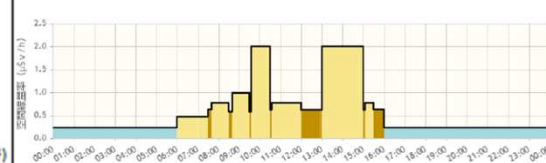
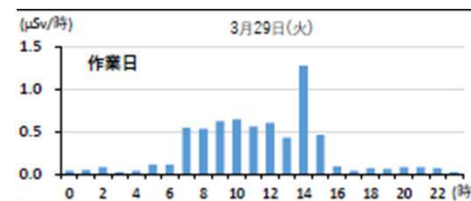
シミュレーション空間線量率変化

○生活行動パターン概要

作業時間



(作業時間外) D-シャトルは自宅(南相馬市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定



測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/29(火)	6.6	8.4
計	6.6	8.4

## 【 No.5-1 錦台708で農地森林除染 】

行動と地点経路

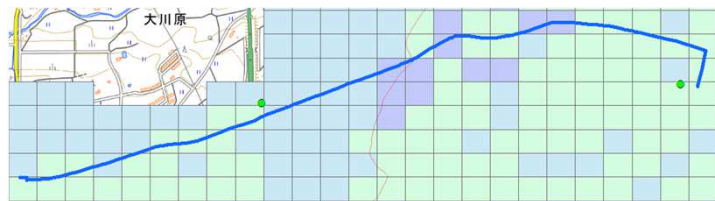
○生活行動パターン概要

作業時間



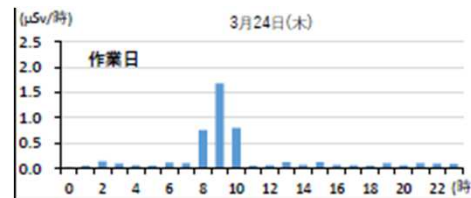
南平1050(第一朝礼会場)

錦台708

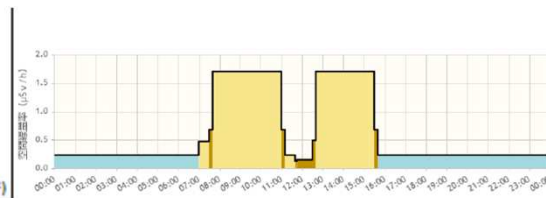


(作業時間外) D-シャトルは自宅(いわき市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/24(木)	5.1	9.0
計	5.1	9.0

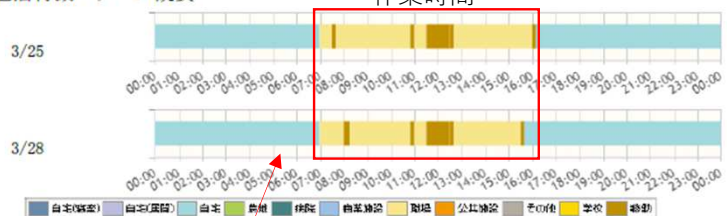


## 【 No.5-2 熊町816で農地森林除染 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間



南平1050(第一朝礼会場)

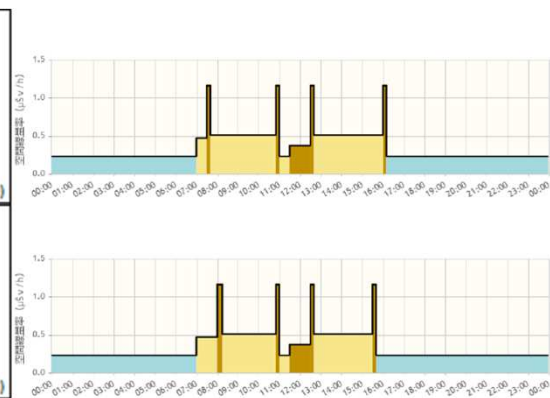
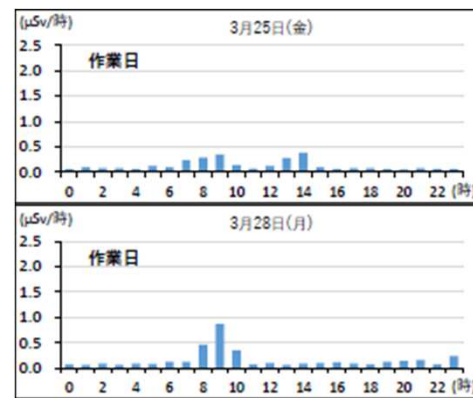
熊町816



(作業時間外) D-シャトルは自宅(いわき市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定

D-シャトル個人線量

シミュレーション空間線量率変化



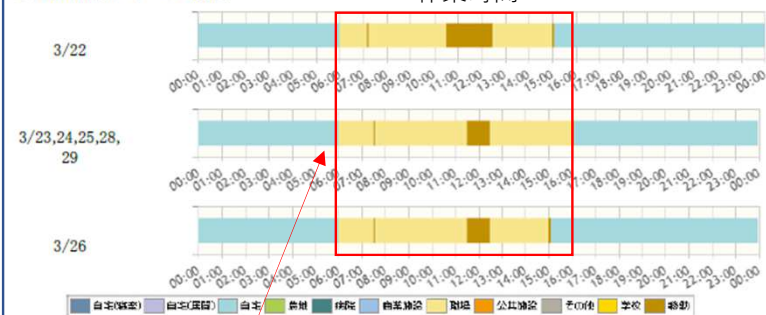
測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/25(金)	3.1	4.9
3/28(月)	3.8	4.9
計	6.9	9.8

## 【 No.6 清水422 - 1他で農地森林除染 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

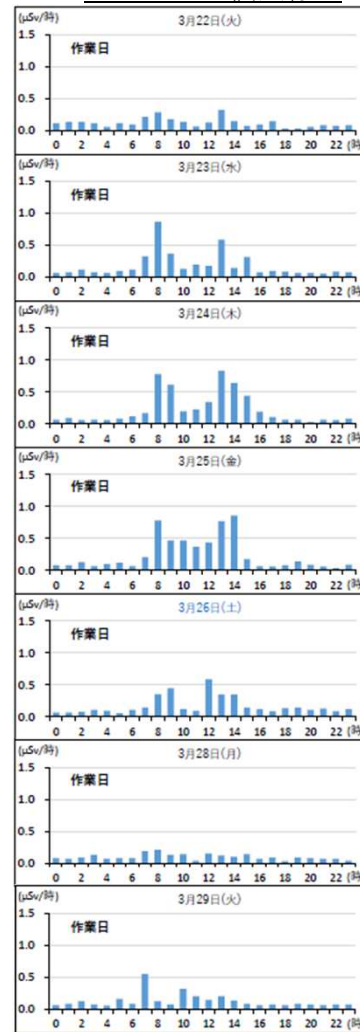
作業時間



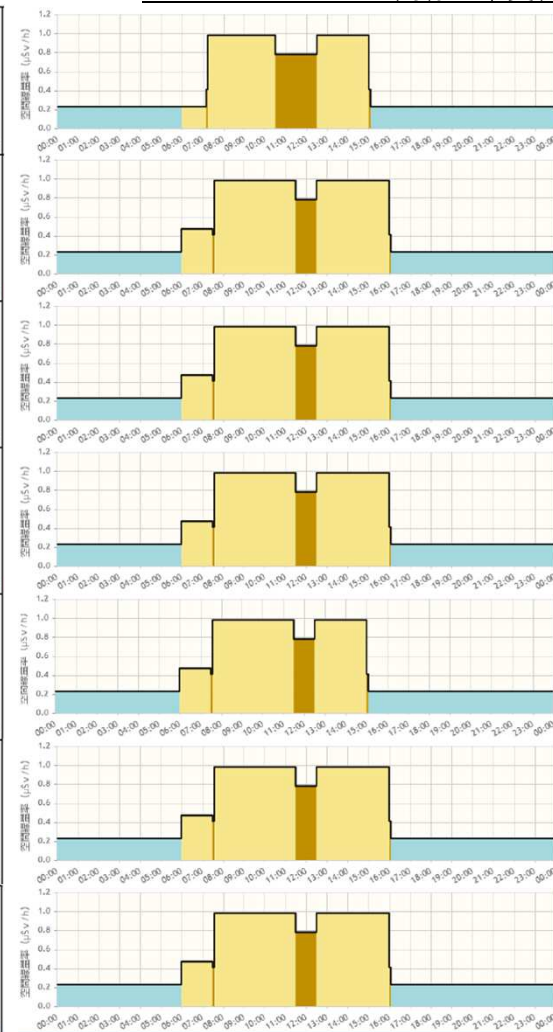
(作業時間外) D-シャトルは自宅(いわき市)に保管  
シミュレーションでは南平1050に滞在すると仮定



D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



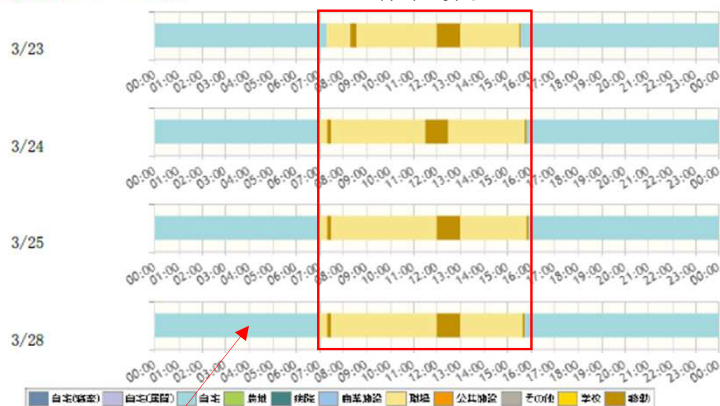
測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/22(火)	3.0	6.6
3/23(水)	4.4	7.2
3/24(木)	5.4	7.2
3/25(金)	5.8	7.2
3/26(土)	4.2	6.8
3/28(月)	2.3	7.2
3/29(火)	3.2	7.2
計	28.3	49.4

## 【 No.7 大野250-3で住宅解体 】

行動と地点経路

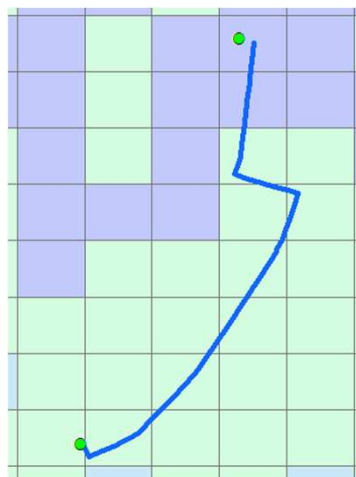
○生活行動パターン概要

作業時間



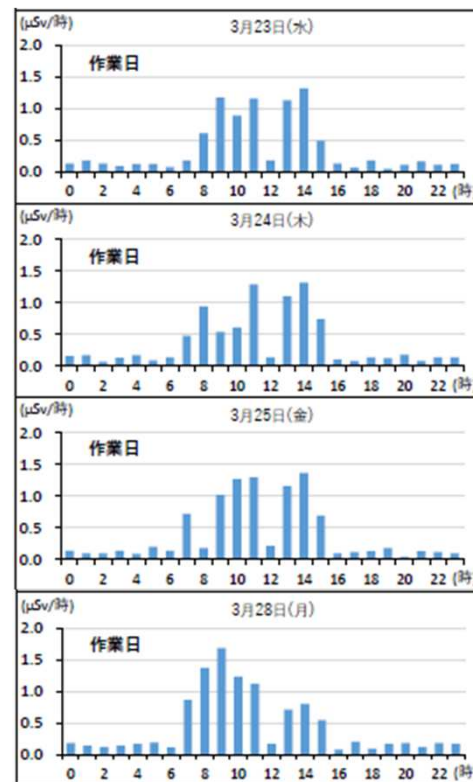
(作業時間外) D-シャトルは原29-3に保管  
シミュレーションでも原29-3に滞在すると仮定

大野250-3

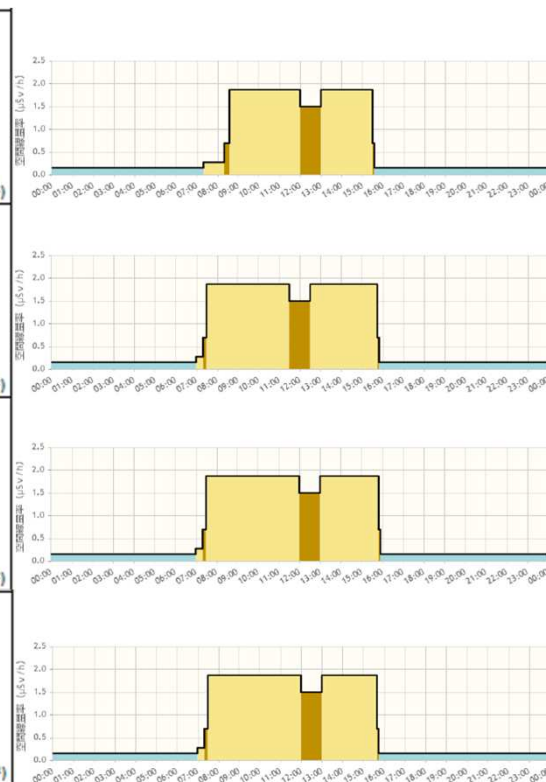


原29-3(第二朝礼会場)

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化



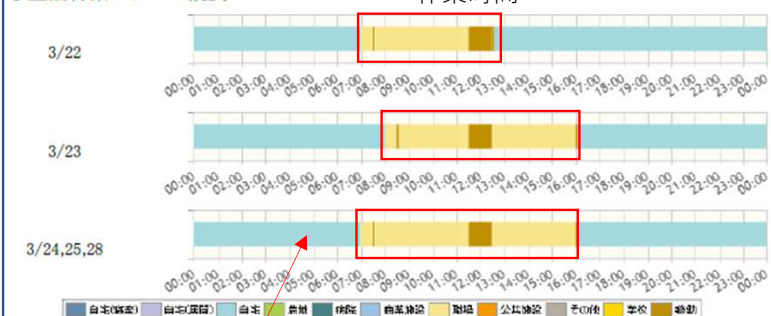
測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/23(水)	9.2	9.2
3/24(木)	9.1	10.5
3/25(金)	9.8	10.6
3/28(月)	10.7	10.4
計	38.8	40.7

## 【 No.8 西大和久300で住宅解体 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間



西大和久300

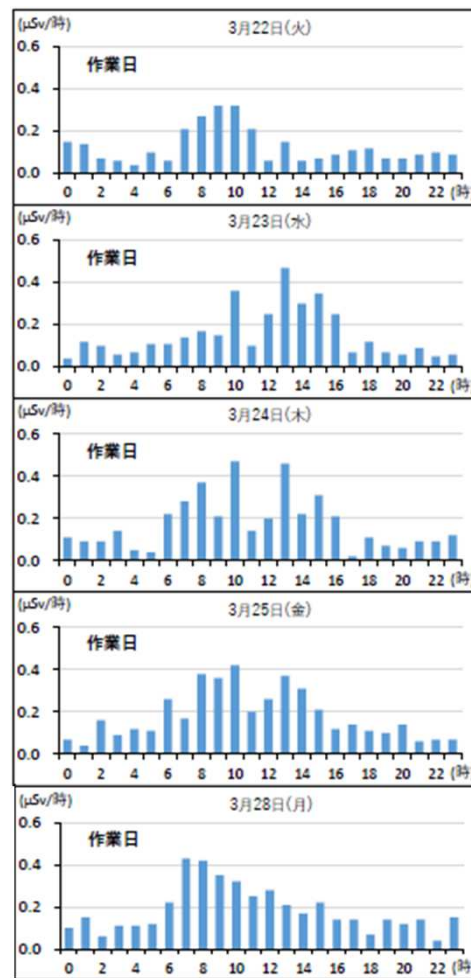


(作業時間外) D-シャトルは原29-3に保管  
シミュレーションでも原29-3に滞在すると仮定

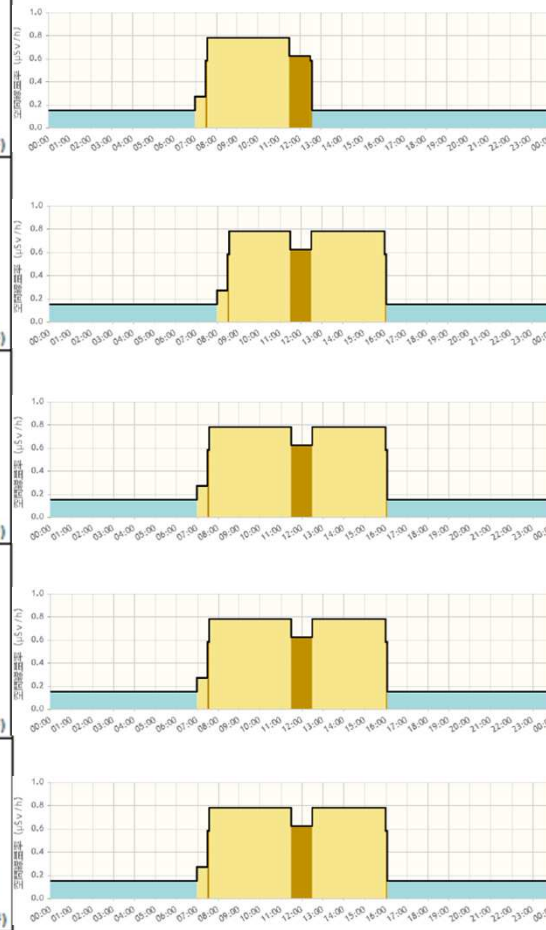
原29-3(第二朝礼会場)

測定日	Dシャトル 個人線量( $\mu\text{Sv}$ )	シミュレーション 実効線量( $\mu\text{Sv}$ )
3/22(火)	3.0	4.0
3/23(水)	3.7	5.0
3/24(木)	4.2	5.3
3/25(金)	4.3	5.3
3/28(月)	4.5	5.3
計	19.7	24.9

D-シャトル個人線量



シミュレーション空間線量率変化

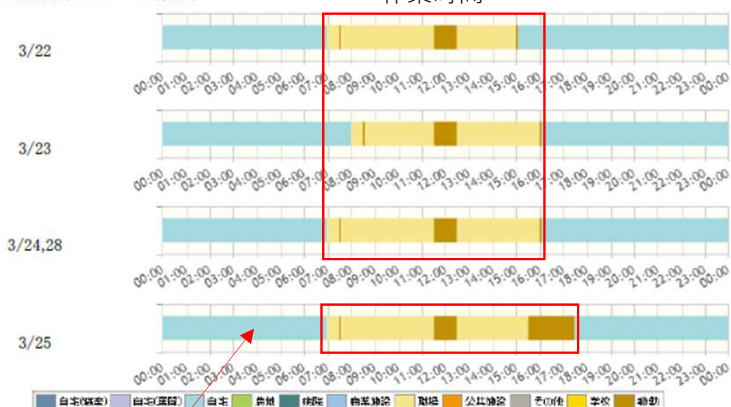


## 【 No.9 新町623で住宅解体 】

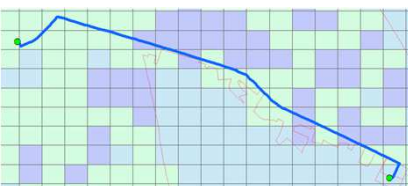
行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間



原29-3(第二朝礼会場)



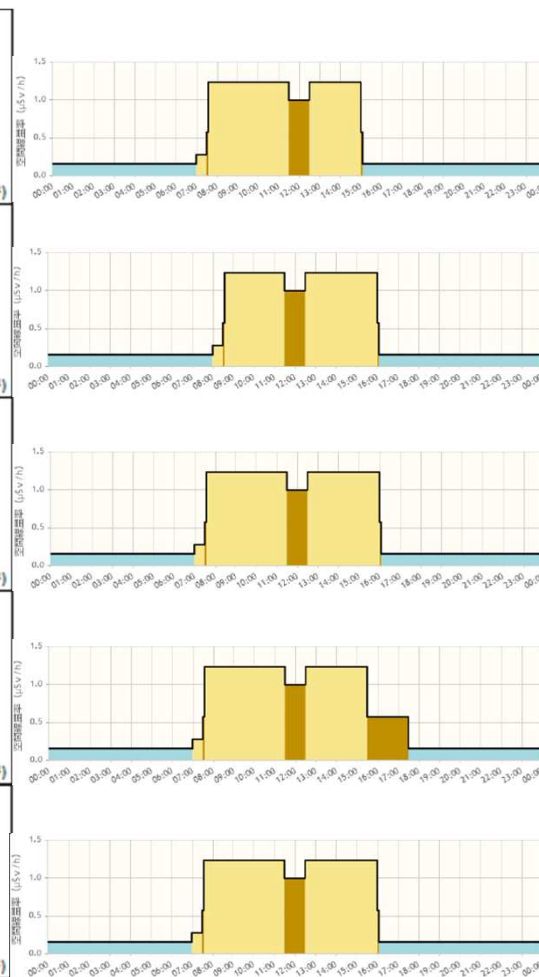
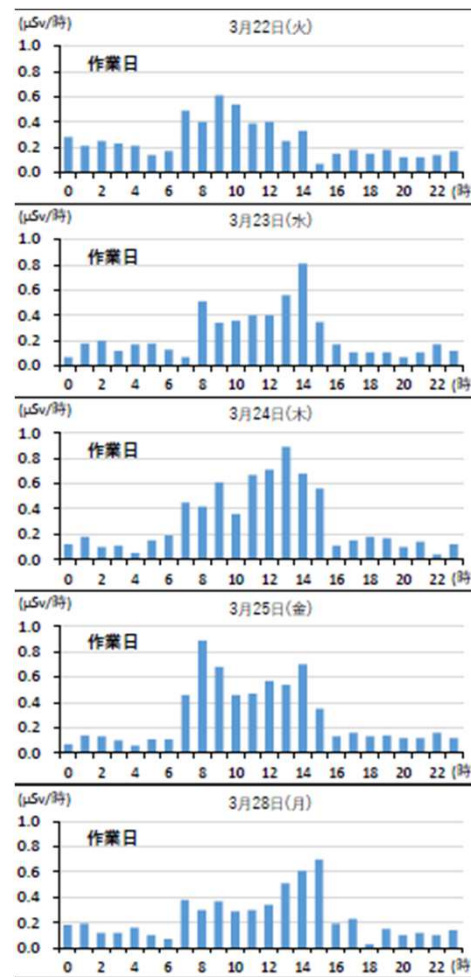
新町623

(作業時間外) D-シャトルは自宅(浪江町)に保管  
シミュレーションでは原29-3に滞在すると仮定

測定日	Dシャトル 個人線量( $\mu\text{Sv}$ )	シミュレーション 実効線量( $\mu\text{Sv}$ )
3/22(火)	6.2	6.9
3/23(水)	5.8	6.9
3/24(木)	7.2	7.6
3/25(金)	6.9	7.7
3/28(月)	5.8	7.6
計	31.9	36.7

D-シャトル個人線量

シミュレーション空間線量率変化



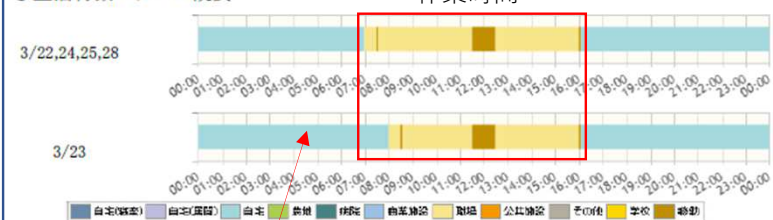
## 【 No.10 大野392で住宅解体 】

行動と地点経路

○生活行動パターン概要

作業時間

大野392



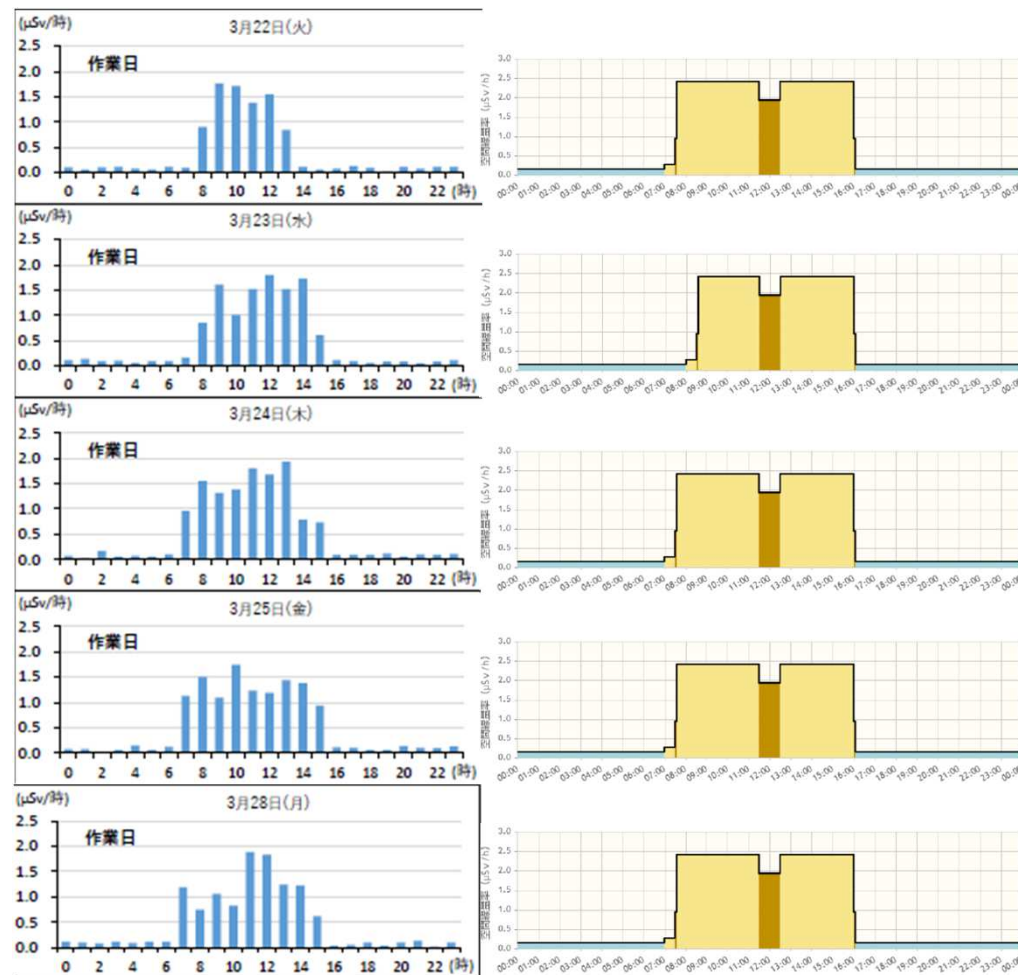
(作業時間外) D-シャトルは自宅(いわき市)に保管  
シミュレーションでは原29-3に滞在すると仮定



原29-3(第二朝礼会場)

D-シャトル個人線量

シミュレーション空間線量率変化



測定日	Dシャトル 個人線量(μSv)	シミュレーション 実効線量(μSv)
3/22(火)	9.7	13.4
3/23(水)	12.2	12.1
3/24(木)	13.5	13.4
3/25(金)	13.0	13.4
3/28(月)	11.9	13.4
計	60.3	65.7

## 第8回大熊町除染検証委員会出席者

## &lt;委員&gt;

(敬称略)

氏名	所属
かわつ けんちょう 河津 賢澄	福島大学共生システム理工学研究科 客員教授
かわせ けいいち 川瀬 啓一	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 企画調整室 次長
よしだ ひろこ 吉田 浩子	東北大学サイクロトロン ラジオアイソトープセンター 研究教授
しょうずがわ かつみ 小豆川 勝見	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 環境分析化学研究室 助教
うさみ のりこ 宇佐美 徳子	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 講師
ちば ゆきお 千葉 幸生	大熊町議会議員
ささき しょういち 佐々木 祥一	町民代表

## &lt;オブザーバー&gt;

氏名	所属
粕谷 直樹	内閣府 原子力災害対策本部 原子力被災者生活支援チーム 参事官
外園 広尚	復興庁 福島復興局 原子力災害現地対策本部 住民支援班 参事官
(Web) 秦 康之	環境省 福島地方環境事務所 所長
須賀 義徳	環境省 福島地方環境事務所 環境再生・廃棄物対策部 環境再生課 課長
川道 俊見	環境省 福島地方環境事務所 環境再生・廃棄物対策部 環境再生課 専門官
若林 聡	環境省 福島地方環境事務所 環境再生・廃棄物対策部 環境再生課
二井 幸徳	環境省 浜通り南支所 支所長
池沢 武	環境省 浜通り南支所 支所長補佐
眞田 幸尚	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 博士(理学)
峯村 共哉	福島県 生活環境部中間貯蔵・除染対策課 主任主査
佐々木恵一	福島県 生活環境部中間貯蔵・除染対策課 主査

## &lt;事務局&gt;

氏名	所属
澤原 寛	大熊町 環境対策課長
鈴木 裕平	大熊町 環境対策課 課長補佐兼放射線対策係長
舘村 宥紀	大熊町 ゼロカーボン推進課
中村 辰矢	大熊町 総務課副課長(福島県駐在)
片岡 円	大熊町 環境対策課